



川合増太郎教授近影



小林好和教授近影

## 川合増太郎教授略歴・主要業績目録

### ■履 歴

- 1947年 10月 4日生  
1972年 3月 東京教育大学文学部文学科卒業  
1976年 3月 東京教育大学大学院修士課程文学研究科修了（文学修士）  
1976年 4月 茨城大学教養部非常勤講師（1978年3月まで）  
1977年 4月 国士舘大学教養部非常勤講師（1978年3月まで）  
1978年 4月 札幌商科大学商学部講師  
1979年 4月 札幌商科大学商学部助教授  
1984年 4月 札幌学院大学商学部助教授（校名変更）  
1986年 4月 札幌学院大学助教授  
1999年 4月 札幌学院大学図書館長（2001年3月まで）  
2001年 4月 札幌学院大学教授  
2002年 5月 札幌学院大学理事・評議員（2008年5月まで）  
2005年 5月 札幌学院大学広報室長（2008年5月まで）  
2008年 4月 札幌学院大学人文学部人間科学科教授

### ■業績

#### <研究テーマとその特色>

【テーマ 東ユダヤ人とイディッシュ劇とカフカとの関連性研究, カフカ及び彼の作品研究】

カフカはイディッシュ劇団との出会いにより、昔ながらのユダヤ的伝統、ユダヤ教や彼らの生活言語イディッシュに根差した生活の存在を知って、自らの思想・生き方・作品に多大な影響を受けたが、その影響の程度と性質およびその関連からカフカと彼の作品を研究している。

#### <研究課題のキーワード>

現代ドイツ文学（主としてフランツ・カフカ）、イディッシュ劇、文学

#### <研究業績>

##### （1）編・著書、訳書論文

- 1982年 12月 翻訳／ヨハネス・ヘムレーベン、アンドレイ・ペールイ『シュタイナー入門』（共著）人智学出版社, pp.98-211  
1977年 10月 翻訳／ヨハネス・ヘムレーベン『ルドルフ・シュタイナー』（共著）工作社, pp.129-267, pp.274-289

##### （2）論文・その他

- 1975年 6月 「新詩集について」東京教育大学文学研究科独文学専攻論集「ドイツ文学研究」第3号, pp.37-44  
1976年 7月 「共同体としての裁判所—『訴訟論』—」東京教育大学文学研究科独文学専攻論集「ドイツ文学研究」第5号, pp.1-14  
1991年 12月 「カフカ イディッシュ劇体験」（単著）『札幌学院大学人文学会紀要』第50号, pp.85-97  
1994年 8月 「判決論—その（1）—」（単著）『札幌学院大学人文学会紀要』第56号, pp.31-52

1996年 8月 「判決論—その(2)—」(単著)『札幌学院大学人文学会紀要』第59号, pp.47-60

1999年 3月 「変身論—その(1)—」(単著)『札幌学院大学人文学会紀要』第65号, pp.27-42

<学会発表>

2007年 7月 「カフカと東ユダヤ人」北海道ドイツ文学会

2013年 9月 日本独文学会秋季研究発表会「文学1」分科会司会

<その他>

2006年 4月 北海道ドイツ文学会幹事(2008年3月まで)

2008年 4月 北海道ドイツ文学会会長(2010年3月まで)

2008年 4月 日本独文学会北海道支部長(2010年3月まで)

2015年 12月 2015年度秋期「ドイツ語技能検定試験」北海道試験場統括責任者(於 札幌学院大学, 公益財団法人 ドイツ語学文学振興会主催)

## 小林 好和教授略歴・主要業績目録

### ■履歴

- 1950年 2月 23日生  
1973年 3月 北海道教育大学教育学部卒業  
1976年 3月 北海道教育大学教育専攻科修了  
1978年 3月 大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程修了（教育学修士）  
2004年 3月 東北大学大学院教育学研究科博士後期課程修了 博士（教育学）  
1973年 5月 釧路市立城山小学校教諭（1975年3月まで）  
1978年 4月 釧路短期大学非常勤講師（1978年6月まで）  
1978年 7月 釧路短期大学幼児教育学科講師  
1982年 4月 常磐会短期大学初等教育科講師（1985年3月まで）  
1985年 4月 札幌学院大学助教授  
1995年 4月 札幌学院大学教授  
2001年 4月 札幌学院大学人文学部人間科学科長（2003年3月まで）  
2004年 4月 札幌学院大学教務部長（2006年3月まで）  
2006年 4月 札幌学院大学人文学部こども発達学科長（2010年3月まで）  
2010年 4月 札幌学院大学人文学部長（2014年3月まで）  
2010年 5月 札幌学院大学評議員（2014年3月まで）

### ■業績

#### <研究テーマとその特色>

##### 【テーマ 子どもの表象の生成とその変換過程】

研究テーマの第一は、認知科学で指摘される人間の初期発達における生得主義、及びピアジェが主張してきた構成主義の論争を整理し、今後の認知発達研究を展望すること、第二は、近年の「物語理解」研究を進展させつつ、理解の心的表象のモデル化を試み、これを道具立てとしながら教室における児童の理解の特質とその変換過程を検討することである。

#### <研究課題のキーワード>

認知発達 モジュール性 概念変換

#### <研究業績>

##### （1）編・著書，訳書論文

- 1997年 9月 『質的研究法による授業研究』（共著）北大路書房，pp.203-269  
1997年 3月 『人間発達の認知科学—精神のモジュール性を超えて—』（A.カミロフ，スミス著）（監訳）ミネルヴァ書房，pp.1-38，pp.271-275  
1996年 10月 『認知心理学者教育評価を語る』（共著）北大路書房，pp.4-15  
1994年 5月 『子どもは小さな科学者か—J.ピアジェ理論の再考—』（S.ケアリ著）（共訳）ミネルヴァ書房，pp.1-53，pp.93-136，pp.167-193  
1990年 3月 『新・青年心理学』（共著）八千代出版，pp.119-130  
1989年 10月 『現代教育心理学図説』（共著）北大路書房，pp.55-66  
1989年 10月 『新しい教育心理学の構図』（共著）協同出版，pp.45-93  
1989年 3月 『理解とふれあいの心理学』（共著）ミネルヴァ書房，pp.190-202，pp.208-214，pp.220-230

- 1986年 4月 『教職心理学講座2 児童心理学』（共著）第一法規, pp.237-257  
 1983年 4月 『乳幼児心理学・児童心理学』（共著）大成出版, pp.116-135  
 1982年 4月 『新・教育心理学』（共著）八千代出版, pp.87-116  
 1982年 3月 『心理学入門』（共著）八千代出版, pp.69-86  
 1982年 3月 『現代の青年心理学』（共著）八千代出版, pp.63-74  
 1980年 4月 『現代の教育心理学』（共著）小林出版, pp.125-145

## （2）論文・その他

- 2011年 3月 「子どもの表象発達と素朴生物学の生成可能性について」（単著）『札幌学院大学人文学会紀要 第89号』  
 2009年 12月 「人間の初期発達における構成的モジュールと表象の変換について」（単著）『札幌学院大学人文学会紀要 第86号』  
 2009年 3月 「素朴生物学をめぐる認知発達研究の課題と展望」（単著）『札幌学院大学人文学会紀要 第85号』  
 2008年 3月 「授業場面における理解過程に関する研究（Ⅶ）—文学作品の「一次読み」における予期推論と原文展開の統合について」（単著）『札幌学院大学人文学会紀要 第83号』  
 2005年 3月 「授業場面における文学作品の理解過程について—「立体的な読み」の生成方略を考える—」（単著）『教授学習研究会 研究報告 第4号（東北大学大学院教育研究科編）』  
 2004年 12月 「大学生の心理学に関する「素朴概念」—本学人文学部生を対象として—」（共著）『札幌学院大学人文学会紀要 第76号』  
 2004年 10月 「〈誌上討論〉『ごんぎつね』をどう教えるか」（単著）『わかる授業の創造 Vol.3』  
 2003年 12月 「授業場面における理解過程に関する研究（Ⅵ）—文学作品を用いた教授・学習過程について」（単著）『札幌学院大学人文学会紀要 第74号』  
 2003年 7月 「授業場面における文学作品の理解過程について—文学教材『ごんぎつね』の理解構造とその変化」（単著）『読書科学 第47巻 第2号（日本読書科学会編）』  
 2003年 3月 「文学作品の理解過程について—国語教材『ごんぎつね』を用いて」（単著）『教授学習研究会 研究報告 第3号（東北大学大学院教育学研究科編）』  
 2003年 3月 「授業場面における理解過程に関する研究（Ⅴ）—文学作品の理解とその変化の可能性について」（単著）『札幌学院大学人文学会紀要 第73号』  
 2002年 3月 「文学作品の理解過程について—国語教材『ごんぎつね』を用いて—」（単著）『教授学習研究会 研究報告 第2号（東北大学大学院教育学研究科編）』  
 2001年 12月 「授業場面における理解過程に関する研究（Ⅳ）—文学作品の理解構成とその変化について—」（単著）『札幌学院大学人文学会紀要 第70号』  
 2001年 8月 「海外の論調・学会の動向 素朴理論の変換とその評価」（単著）『指導と評価 Vol.47（日本教育評価研究会編）』

## <学会発表>

- 2012年 3月 「素朴生物学研究の新たな方向性を探るⅡ」日本発達心理学会第23回総会  
 2011年 3月 「素朴生物学研究の新たな方向性を探るⅠ」日本発達心理学会第22回総会  
 2009年 6月 「文学作品の「一次読み」における予期推論と原文展開の統合について」日本教授学習心理学会第5回総会

- 2005年 6月 「授業における理解過程に関する研究—心理学における「発達」の基礎的概念について—」日本教授学習心理学会第1回総会
- 2003年 3月 「授業場面における理解の変換について2」教授学習心理学研究会（東北大学大学院教育学研究科主催）
- 2002年 2月 「授業場面における理解の変換について1」教授学習心理学研究会（東北大学大学院教育学研究科主催）
- 2001年 3月 「授業場面における理解過程に関する認知心理学的研究」教授学習心理学研究会（東北大学大学院教育学研究科主催）

### （3）社会における活動

- 2001年 1月 『発達心理学研究』編集委員（日本発達心理会機関紙）（2002年3月まで）
- 2003年 4月 『教授学習心理学研究』編集委員（日本教授学習心理学会機関紙）（2002年3月まで）
- 2011年 4月 北海道教科用図書選定審議会 審議委員（北海道教育委員会）（2015年8月まで）